

# 検証 給水管対策

## 秀和東十条レジデンス管理組合

# 効果保証書を受領

## 二年後30%以上の管内閉塞率改善を約束

機器保証あるいは漏水保証を約束する給水管対策メーカーはあるが、「効果保証書」をマンション管理組合に差し入れ、効果がなければ全額返金、装置を撤去する、と確約、注目を浴びている会社がある。NMR共鳴水処理装置「パイプテクター」を販売する日本システム企画（本社東京）だ。同装置を設置したマンションを訪ね、採用経緯等を聞いた。

## 試験用小型機設置、効果確認

昨年秋口に家庭用のNMR

共鳴水処理装置「パイプテクター」を理事十五人がおのの三日間、試したところ、八割にあたる十二人がその有効性を認め、本格導入に踏み切ったマンションがある。東京・北区の「秀和東十条レジデンス」管理組合だ。

「水がおいしくなった」「コーヒーやお茶がおいしくなった」「風呂の湯の色が変わった」

「風呂の湯の色が変わった」が、四日目からパタッとその茶の色が消えてしまっ

てしまった。

「修繕積立金が不十分だったために、すべて各戸負担をお願いした。戸当たり約五十万円ほどの費用を要した。各戸の賛成をとりつけるのに本当に苦労した。だから、給水管対策ということで、また、二十万円も三千万円もかかるとなると、合意形成には大変な苦労が伴うと考え、第一段階として配管延命対策に路線を変えた」と、中安陸雄理事長は経緯を説明する。

配管延命工法で検討した工法は、脱気やカルシウム防錆、磁気など広範囲に及んだ。

NMR共鳴水処理装置「パイプテクター」はその検討工法の一つにあがっていった。

「資料を取り寄せたり、営業マンの説明を聞いて、どうしても腑に落ちないところがあつた。パイプテクターが米国のゼネラルモーターズ社の特許である、との説明だった。なぜ、自動車会社が水処理装置の特許など持っているのか。はつたんじゃないか」

福井副理事長は納得がなかつたために、米國から特許情報を取り寄せ、技術内容を調査した、という。「実は米國GM社が取得していたのはガソリンの燃焼効率を良くするための特許だった。水素結合を切っ

その理論はなかなか専門的で、福井副理事長には理解できて素人には分かりづらいことから、まずは試しということで、冒頭の家庭用パイプテクターの試験設置につながったというわけだ。

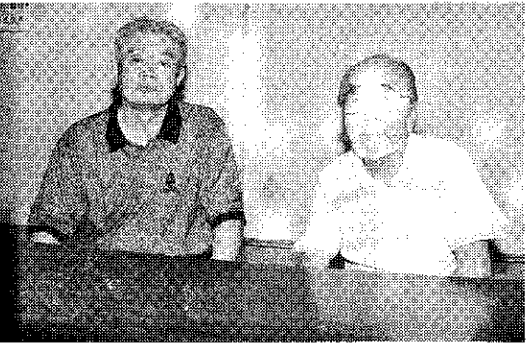
効果も、その有用性を理事十五人のうち十二人が認めたことから、今年二月に高架水槽の二次側給水管に設置した。しかし、正式には今年五月の総会で可決、「その間はモニター期間ということで、日本システム企画さんにお願ひした」と中安理事長。

「効果保証、つまり、効果がなければ、パイプテクターを撤去し、全額返金する」というものだから、相当自信があると判断した。具体的には設置二年経過後、配管内部閉塞率が30%以上減少をもって効果ありと判断する。ファイバースコープを挿入して写真撮影して効果判定をすることになっているが、同じ条件で撮影するため、カメラの絞りやシャッター速度など細かく取り決めていく（福井副理事長）

実は理事会では、配管延命策と共に、本格的な給水管更新対策の検討に入っている。

# NMRパイプテクター 米國GM社の特許

## 「特許内容を徹底調査、納得しました」



中安陸雄理事長（右）と福井達郎副理事長



配管延命と水の活水化を目的に「パイプテクター」を設置した東京・北区の「秀和東十条レジデンス」

「パイプテクターは水の活水化に著しい効果を発揮するため、給水管を更新したとしても、その後十分に威力を発揮することでしょう（福井副理事長）」

なかなか賢い管理組合だ。